

ビーチボールルール（菊川市ローカルルール）

《主なルール》

- ◆コート：バドミントンのダブルスコート ※センターライン（ネットの真下）を引く
- ◆ネットの高さ：バドミントンネット 高さは1m80cm
- ◆ボール：白と緑のビニール製のもの 直径は27cm±1cm 重さは70g±2g
- ◆チーム：1チーム5人以上 コート内は常時4人
- ◆ゲームの勝敗：①ラリーポイント制、2セット先取（9点）で勝者とする（各セット間は1分間）
②セット数が1-1の場合は3セット目を行う（5点でコートチェンジ）
※コートチェンジに気づかなかった場合は、気づいた時点で交代、得点はそのまま
※コートは1セットごと代わり、3セット目は改めてトスを行う
③点数が8-8の場合は、デュースとなり、2点勝ち越したチームがそのセットの勝者となる
※上限は12点

《競技の始め方》

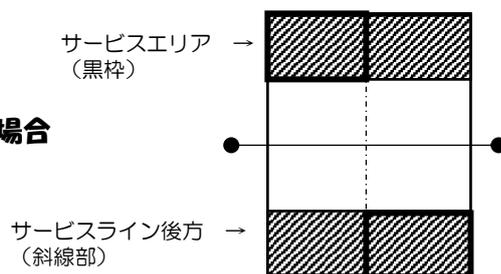
- ① サイドラインに整列する
- ② 試合前挨拶（ネット前にて選手全員で握手をする）
- ③ 両主将のトスを行う（勝者は「サーブ権」か「コート」のいずれかを選択し、敗者は選択されなかった権利を行使する）
- ④ 試合開始

《サービス》

- ・ 前衛右の位置にいる選手から始める
 - ★サービスは1本とするが、連続ポイントをした場合は3本まで行うことができる
 - ★続いている場合は、ローテーションを行い、次のサーバーと交代をする
 - ★サーバーはコート外に出て、コート外の選手がコートの「後衛右」に入る
- ・ アンダーハンドで行う
- ・ 初めにサービス権がないチームは、1点目を取ってもローテーションはせず、前衛右の選手がサービスを打つ。その後、サービス権を取った時に交代する。
- ・ 2セット目は1セット目にサービス権がなかったチームが行う
- ・ 3セット目は改めて両主将のトスを行う
- ・ 3セット目のコートチェンジ後にローテーションを行う場合は、コートチェンジ後にサーバーが交代する

【サービスの反則】

- ・ ネットイン
- ・ サービスが、「相手コートのサービスライン後方」に入らなかった場合
※サービスライン後方：右図斜線部、サービスエリア：黒枠
- ・ サービスエリアの線を踏む、踏み越える
- ・ サービスを打つ時、両足の平が全て床についていない



《ポジション》

- ・ 両チーム、前衛2人、後衛2人とする
- ・ サービス時は前後左右、正しい場所で静止していなければならない（サーバー以外）
ただし、サービスが打たれた後はどのポジションに移動しても良い
- ・ サービス権が移行してきたら時計回りにローテーションをする
前衛右の選手はコート外に出て、交代してコートに入った選手は、後衛右に入る
- ・ セットごとのポジションは自由
- ・ 3セット目のコートチェンジの後は、コートチェンジ前と同じ場所に入る

《レシーフ》

- ・ 3回以内に相手コートに返球する
ただし、相手のサービスは1回で返球してはいけない（サービスブロック）
- ・ ネットにボールが触れた時は、4回触ることができ、その時は同じ選手が1回のみ続けてボールに触れることができる
- ・ 2人が同時にボールに触れた時は「1回」と数え、続けて同じ選手がボールに触れても良い
- ・ 1人が続けてボールに触れてはいけない
- ・ レシーフは、腰から上の部分で行う

《アタック・ブロック》

- ・ ポジションに関係なく誰でも行うことができる
- ・ ブロックのタッチは「1回」と数える

《タイムアウト》

- ・ 1セット1回で、時間は30秒

《その他》

- ・ ボールの中心がライン上に掛かっていれば「イン」、外れていれば「アウト」
- ・ センターライン（ネットの下のライン）を踏んでもよいが、踏み越えてはいけない（パッシング）
- ・ タッチネット、オーバーネットは反則
- ・ ボールがボールに触れた場合は、アウトとする